

7並べとは

ジョーカーを含む54枚のトランプを使用。各スートの7を起点として、それに連続するようにカードを出していき、1番早く手札をなくすか、他のプレイヤーすべてが手札を出すことができなくなれば勝利。

ゲームの流れ

- ・参加人数はプレイングディーラーも含めて3人～7人とします。
- ・参加プレイヤーは5G×2枚をパス権として、手持ちのチップから前に出す。
- ・テーブルが立った最初のゲームはディーラーがボタンとなり、ディーラーから時計回りで1枚ずつ全てのカードを配る。2ゲーム目以降は、前回の勝者がボタンとなる。
- ・7を持っているプレイヤーは、それらを場にすべて出す。
- ・ボタンの左隣から時計回りに各プレイヤーが手札から1枚カードを出し、もしくはパスをする。
- ・カードを出す場合、出すことのできるカードは、場に出ているカードと連続するカードのみ(例えばスペードの7が場に出ているならスペードの6か8。ハートの6789と出ているなら、ハートの5か10が出せるカード)。
- ・ジョーカーは、例外的なカードで、他の手札と一緒に出す。
★具体的な使い方:たとえば、場にダイヤの567と出ている、手札にダイヤの3とジョーカーはあるが、ダイヤの4がないとき、ダイヤの5の隣にジョーカーを出し、ダイヤの3を同時に出す。このとき、ダイヤの4を持っているプレイヤーはその場で強制的に出さなければならない(ジョーカー回収はできない)
- ・逆流あり。Aもしくはキングまでカードが出た場合、反対側からしかカードを出せなくなる。例えば、56789・・・QKとカードが繋がった場合、4の側からカードが出せなくなり、Aからのみカードを出せるようになる。この場合、ジョーカーは2を持っているプレイヤーが使うことができ、3を持っているプレイヤーは使えないので注意。
- ・パスをする場合は、5Gをポットに入れる。出せるカードがあってもなくてもパスはできる。
- ・パス権を2回使いいきり、出せるカードが1枚もない場合、そのプレイヤーは”飛び”となり、その時点で負けとなる。飛んだプレイヤーは、40Gを上限として、残り手札の枚数×5Gを持ちチップからポットに支払う。

・飛んだプレイヤーの手札はすべて場に並べる。7と連続するようになるまでは、このとき出されたカードの隣にカードを出すことはできない（例えばクラブが789と出されていて、飛んだプレイヤーからクラブの4が置かれたとして、クラブの6が出されるまでは5は出せないし、6と5が出されるまでは3は出せない）。ジョーカーを使う場合はここで置かれたカードを飛ばして使える。また、エースやキングが飛びで置かれても、7からつながるまでは逆流は起きない。

・一番最初に手札すべてを出し切るか、他のプレイヤーすべてが飛びになったらそのプレイヤーの勝ち。その時点でまだ飛んでいないプレイヤーは、飛んだプレイヤーと同様に手札枚数に応じてチップをポットに支払う。

参加料とレート

- ・ゲームに参加するには最低50G以上のチップが必要。
- ・レーキとして、ゲーム終了時に、ポットから参加人数×2G徴収する。
- ・最初の1人があがるか、1人を残して全員が飛んだ時点でゲームは終了。途中で飛んだ人は、その時点で残っていたカード枚数×5Gをポットに入れ、ゲーム終了時に勝者に渡します。誰かがあがった場合は全員その時点で残っているカード枚数×5Gを、あがった人に渡す。ただし一人あたりの最大支払額は、40Gを上限とする。
- ・ゲーム終了時に残ったパス権はそのプレイヤーの持ちチップに戻る。

ジョーカーの使い方

・ジョーカーは、あと1枚カードAが出てくれれば、手札からカードBが出せるという場合に、Aの代わりにジョーカーを置いて、自分の手持ちのBも合わせて出すことができる。この場合のみプレイヤーはジョーカーとBの、2枚のカードを同時に出すことができる。

・Aを持っているプレイヤーは、即座にそのカードを場に出さなければならない。（ジョーカーは回収しない）

・ジョーカーは2枚同時に使うことも可能。

（例）



◇9さえ出れば、◇10が出せる



◇9の代わりにジョーカーを出して、◇10を出す



◇9を持っている人は場に出す

・逆流や、飛んだ人のカードが場に出されている場合でも同様に、このカードが出れば手持ちのカードが出せる状況の時に、そのカードの代わりとして出す。

(例)



♠8さえ出れば、♠Jが出せる



♠8の代わりにジョーカーを出し、♠Jを出す



♠8を持っている人は場に出す